

独立行政法人 水産総合研究センター
瀬戸内海区水産研究所 百島実験施設
二枚貝類飼育実験棟

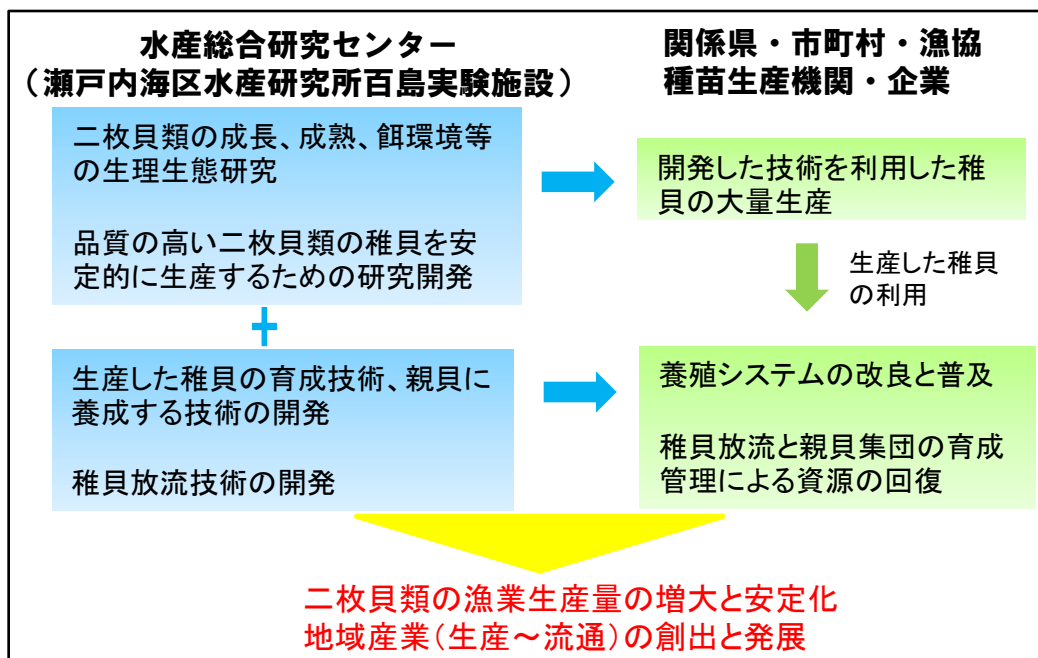


独立行政法人
水産総合研究センター

独立行政法人水産総合研究センター
瀬戸内海区水産研究所長
高柳 和史

アサリをはじめとする二枚貝類は、我が国の重要な水産資源であるとともに、人々が自然と触れ合う潮干狩りなどの対象物として古くから親しまれてきました。しかし、近年、沿岸環境の変化や乱獲、害敵生物の増加等により、干潟域の二枚貝類の資源量が急減し、その回復が喫緊の課題と考えられています。

これらの問題を解決するために、独立行政法人水産総合研究センターでは、関係各位のご協力を頂き、二枚貝類に関する研究開発の拠点施設として、瀬戸内海区水産研究所百島実験施設(広島県尾道市)に「二枚貝類飼育実験棟」を建設いたしました。当センターでは、開発した技術や研究成果を漁業生産の現場で実証し、普及を図るために、今まで以上に、関係機関との協力関係を築いていきたいと考えています。今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



二枚貝類の生理生態・生産に関する研究開発と、
生産量増大のための取り組み

施設紹介

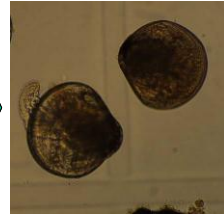
この施設では、二枚貝類の成長、成熟等の生理生態研究や高品質の稚貝を安定的に生産する技術の開発と、生産した稚貝を放流や養殖に利用するための試験研究を行います。



親アサリの産卵

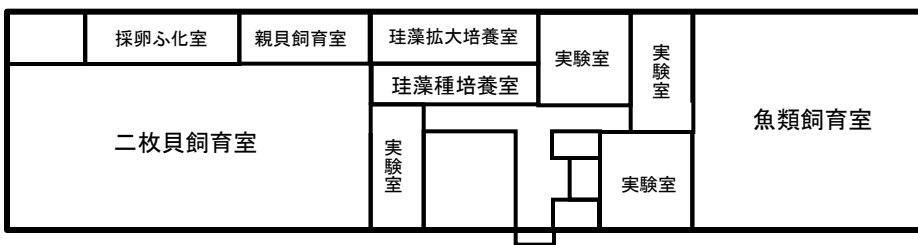


幼生
(体長90 μm)



着底稚貝
(殻長250~300 μm)

アサリの発育過程



二枚貝類飼育実験棟



植物プランクトン培養棟
(二枚貝類の餌(珪藻)の培養)

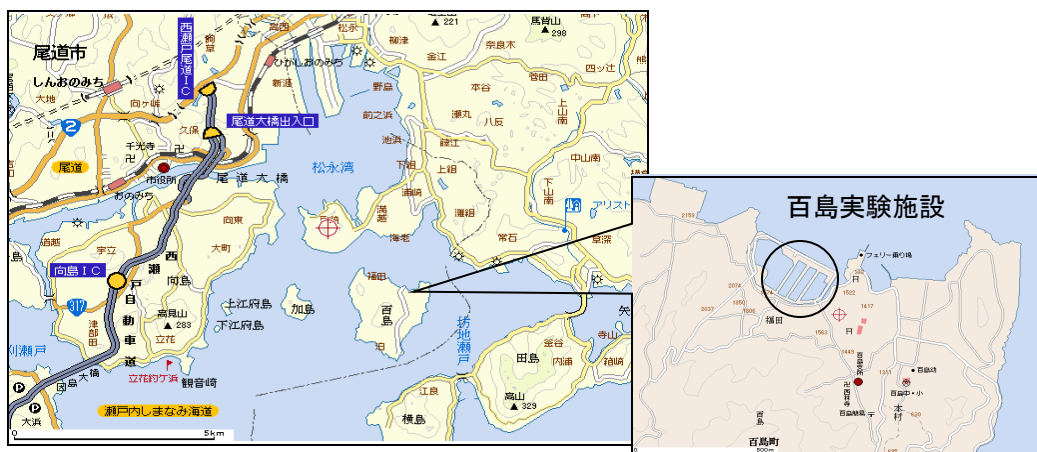


生海水飼育棟
(自然海水を利用した飼育実験)

施設概要

- 施設規模 二枚貝類飼育実験棟 (960m²)
付帯施設
生海水飼育棟 (80m²)
植物プランクトン培養棟 (96m²)
ろ過棟 (14.85m²)
機械室 (59m²)
- 発注者 独立行政法人水産総合研究センター
- 設計者 (株) VAN設計
- 監理 (株) 綜企画設計
- 施工業者 建築: (株) 堀田組 機械設備: (株) 東京久栄
- 竣工 平成22年3月18日
- 設備 取水設備 貯水設備 ろ過設備 送水設備 ブロア
ボイラ 上給水ユニット 給湯設備 ガス設備
合併式浄化槽 通信(電話・LAN)設備

アクセス



瀬戸内海区水産研究所 百島実験施設
〒722-0061 広島県尾道市百島町1760
TEL 0848-73-5020 FAX 0848-73-5340
交通機関 JR尾道駅前棧橋発 福田港下船 徒歩5分